

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
01	IT WORKS 株式会社 代表取締役 伊藤 健人	【SDGs の達成に向けた取り組み】 ・女性責任者が活躍できる環境が整っており、出産や育児のための休暇制度を設けています。 ・地域社会とのつながりを深め、社員の健康増進を図るため、NAHA マラソンに参加しました。 ・全社員が利用できる福利厚生プラットフォームを導入し、仕事やプライベートも充実できる環境づくりを行っています。 ・社内外でのスキルアップ研修や商材セミナーを行い、リテラシー向上と質の高い教育を実施しています。 ・印刷機はリサイクルトナーを活用し、ミスプリントなどは原則再利用しています。 ・資料はデータにて配布し印刷枚数を制限しています。 ・通気性の良いかりゆしウェアやオフィスカジュアルの着用を促し、適正なエアコンの温度を保つよう取り組んでいます。 ・自転車通勤や徒歩での出勤、テレワークの実施により CO2 排出削減に取り組んでいます。 ・環境負荷低減と節電のため、昼休憩中は社内の照明を消灯する取り組みを実施しています。 ・マイボトル活用を推進し、社内のごみ分別を行うことにより資源リサイクルに貢献しています。 ・毎月 1 回、社員による会社周辺の清掃活動を実施しています。 ・地域の企業課題を IT インフラにて解決。IT サービスを導入し、技術革新の向上を支援しております。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
02	アスク沖縄 株式会社 取締役社長 松岡 勝男	〈環境負荷の低減に関する取り組み〉 ・ 沖縄の豊かな自然環境を劣化させることなく次世代へ引き継ぐため「グループ社用車を環境配慮型へ転換」をテーマとし、2030 年までに社用車を電気自動車等に転換を目標とします。 ・ 自然環境保全のため、「コピー用紙の削減」を掲げ裏紙の利用等を推進し、2030 年度は 2020 年度比 60%削減を目標とします。 〈職場環境づくりに関する取り組み〉 ・ 「仕事と育児、介護の両立のための環境づくり」を掲げ仕事と家族などの仕事以外の生活との調和を保つ職場環境づくりの推進を行っています。 ・ 従業員の安全と健康を守るため、安全パトロールの定期的な実施や外部機関による安全診断の実施を行い、休業 4 日以上の中絶な休業災害ゼロを目指します 〈環境配慮型製品の使用・拡販に関する取り組み〉 ・ 熱管理施設において、定期的にメンテナンスが必要な機器類で使用する固定型の保温材は、その度に新たな保温工事が必要となり、廃材の処理も考慮しなければならない為、当社では脱着自在型の保温材「サーモジャケット」を開発、施工を行う事で廃材の削減に取り組んでいます。 〈省エネルギーに関する取り組み〉 ・ 熱エネルギーを使用している設備から放散する熱エネルギーのロスを最新測定機器により測定を行い、現状の保温、断熱状況を調査することで、熱エネルギーのロスを技術的、経済的に診断し、診断結果をもとに改善提案を出し、それによって改善施工を行っています。 〈廃棄物の削減に関する取り組み〉 ・ 廃材発生現場にて圧縮減容処理を行い、産業廃棄物の容積を最小限に減らすことで運搬量や処分量を低減させる取り組みを行っています。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
03	株式会社 amis 代表取締役 山城 麻美	【SDGs 達成に向けた取組】 沖縄 21 世紀ビジョン基本計画と実施計画をもとに、私達株式会社 amis（旧：Thanks' mama）は地域、社会課題に寄り添い誰もが参加できる環境を整え、人とひとが支え合う「ゆいまーるな温もり」を感じてほしい願いを込め、地域、社会と向き合い育み紡いで参ります。 ・ 安心、安全な社会参加「注文をまちがえるゆいまーるな喫茶店」高齢者（認知症）の方々がホールスタッフとして働くイベントを通し、認知症理解促進（高齢者雇用）を行い安心して社会へ参加できる仕組みの構築。高齢者（認知症）の方々への理解促進とし、医療、福祉機関と連携し実習やボランティアスタッフ等を積極的に受け入れる。（継続して実施。また高齢者のみならず若年性認知症含む） ・ 多職種連携し雇用促進にも繋げていく。 ・ 待機児童改善（お子様同伴）（※待機児童スタッフ同伴出勤、保育所 2 名採用） ・ 社会再生（保護観察、ホームレス）雇用も行う。 ・ 株式会社 amis（旧：Thanks' mama）理念「ゆいまーるな島～Team へと」社会課題を地域と共に育み島全体で紡いで参ります。	 The image shows six SDG icons arranged in a 2x3 grid. The top row contains icons for Goal 3 (Health and Well-being), Goal 4 (Quality Education), and Goal 8 (Decent Work and Economic Growth). The bottom row contains icons for Goal 11 (Sustainable Cities and Communities), Goal 16 (Peace, Justice, and Strong Institutions), and Goal 17 (Partnerships for the Goals).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
04	一般社団法人いこいスタイル 代表 金城 勇太	【SDGs 達成に向けた取組】 いこい学童クラブ・いこい第2学童クラブの2つの放課後児童クラブを運営しています。主に小学校に就学している児童でその保護者が労働等により昼間家庭にいないものを対象とし、学校と家庭の橋渡しとして、放課後の生活を安全に安心して過ごせるように適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成支援を図ることを事業としています。 ■個々の個性を尊重し、「個」を大切にしています。子ども達が安全に安心して公平に過ごすことができるように、年齢、性別、性格などそれぞれの「個」を尊重しながら支援を行っています。 ■「じりつ（自立・自律）」を目的とした育成支援を心掛けています。子ども達の創造力や思考力など、考える力を育むと共に精神面の安定を図ることも意識しています。また、支援員も同様に各々の「じりつ」を目的とし、精神面の安定も図りつつ、働きやすい組織にするためのマネジメントを行っています。 ■体育サークルを通じて、外で身体を動かす機会を増加させ、健全な身体と精神を育むと共にスポーツ意欲の向上を図っています。また、地域の団体と連携し、専門的な指導と地域交流を行っています。 ■現在、支援員の男女比が男性4名、女性6名と男女ほぼ等しく、働きがいのある雇用体制を心掛けています。 ■持続可能な地域社会の実現に向け、保護者、地域、専門機関との連携を図り、子ども達の健全な育ちを支えます。	 The image shows five SDG icons: Goal 3 (Health and Well-being), Goal 4 (Quality Education), Goal 5 (Gender Equality), Goal 10 (Reduced Inequalities), and Goal 11 (Sustainable Cities and Communities).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
05	沖縄県中古自動車販売協会 会長 仲田 裕治	私たちは国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の趣旨に賛同し、SDGs 達成に向けた取り組みを行うことを宣言します。 1. 貧困をなくそう ・子どもの貧困プロジェクトや交通遺児福祉団体への寄付。 ・フードバンク活動を本年度から開始いたします。 3. すべての人に健康と福祉を ・健康診断（人間ドック）の受診。（再検査が必要時は再受診の推奨。） ・朝のミーティング前の 1 分間瞑想による感情の安定、ストレス軽減に努めております。 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・中古自動車オークション事業を通じて、中古自動車リサイクルの発展に寄与しております。 ・環境に配慮した商品の取り扱いやD Xによる資源の削減を図ります。 ・社内に使用する紙は再資源用紙使用し、コピー紙は裏紙の利用に努める。 ・社内の照明をLED化。使用していない電気の消灯の実施。 11. 住み続けられるまちづくりを ・毎月第3月曜日を「JUの日」と制定し地域に感謝を込め、清掃活動に取り組んでおります。 17 パートナーシップで目標を達成しよう ・我が組織は、企業活動を通じて社会課題の解決に取り組みSDGs 目標達成に貢献します。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
06	沖縄県ビジネスプランニング事業協同組合 代表理事 園田 芽衣	【SDGs 達成に向けた取組】 ・ R6 年 10 月より開催・主催を始めた「あさそらマーケット」イベント（2 ヶ月に 1 回 2 日間開催）を通して、幅広い年齢の方に対して SDGs の啓蒙活動を行う。 ・ 「地産地消」 沖縄県内の農家が栽培している野菜や規格外野菜を買取、来場いただいたお客様へ販売。 ・ 県内の果物を使用したアイスバーの開発 産業まつりで販売開始 ・ 小学生からの「こども店長」 飽きない商いを生み出す力を育てる ・ アップサイクル 「ゴミを減らす」活動 新たな商品やメニューを開発する取り組みを実施 ・ イヌ・ネコ「殺処分」頭数トップクラスの沖縄を変える「犬ネコ譲渡会」を実施 ・ 「サンゴの株主」プロジェクト（国頭漁業協同組合青壮年部養殖部会）支援	 The image shows six SDG icons arranged in a 2x3 grid. The top row contains icons for Goal 2 (Zero Hunger), Goal 8 (Decent Work and Economic Growth), and Goal 11 (Sustainable Cities and Communities). The bottom row contains icons for Goal 12 (Responsible Consumption and Production), Goal 14 (Life Below Water), and Goal 15 (Life on Land).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
07	株式会社オネストワン 代表取締役 亀里 多紋	株式会社オネストワンは再生可能エネルギーの普及と建設業界の持続可能な発展を支える企業として、以下の 2 つの事業を柱に、持続可能な社会の現実に貢献し SDGs の達成に向けて取り組んでまいります。 エネルギー事業： 太陽光発電システム・蓄電池・カーポートの普及促進を通じて、脱炭素社会の実現、再生可能エネルギーの活用を推進しています。 仮設事業部： 建設資材の販売およびレンタルを通じて、資源の有効活用や省エネの促進、インフラ整備の効率化に貢献し、循環型社会の構築を支援しています。 【3 すべての人に健康と福祉を】 ・全従業員に対する年 1 回の法定健康診断を実地し、再検査が必要な時は再受診の推奨。 ・熱中症予防対策として作業開始前の体調チェック、水分補給の促進、塩分とミネラルを手軽に補給できる商品を社内に常備。 ・衛生的で安全な職場環境づくりの促進。 【4 質の高い教育をみんなに】 ・社内外での定期的な研修を実施し、業務知識と技術力の向上を支援。 ・外国籍社員に対して、日本語教育や文化理解の機会を提供し、多様性を尊重した職場づくりを推進。 【7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 ・太陽光システム、蓄電池のご提案、設置を通じて再生可能エネルギーの普及と活用を推進。 【8 働きがいも経済成長も】 ・外国籍社員の雇用促進し日本語、技術教育の実施 ・安全教育やスキルアップ研修を通じて社員の成長と働きがいを支援。 ・地域密着型の事業展開による地域経済の活性化。	

SDGs の達成に向けた取組

		【10 人や国の不平等をなくそう】 ・国籍や文化を問わず、多様性のある職場環境の整備。 ・外国籍スタッフの採用、定着、活躍を支援する体制を構築。 【11 住み続けられるまちづくりを】 ・再生可能エネルギー設備の提案、設置を通じて、地域のエネルギー基盤強化と脱炭素化に貢献 ・建設資材のレンタルを通じた現場の効率化と資源の有効活用。 【12 つくる責任つかう責任】 ・使用済み建設資材の整備、再塗装、再販を通じ、資源の循環利用を推進。 ・使用済み太陽光パネルの適正処理を行い資源の有効活用と環境への配慮を推進。 【13 気候変動に具体的な対策を】 ・太陽光発電システムや蓄電池の導入支援を通じ、CO2 排出量の削減と気候変動への具体的な対策を推進。 【16 平和と公正をすべての人に】 ・コンプライアンスの徹底と公正な労働環境の整備により、すべての従業員が安心して働ける職場づくりを推進。 ・国籍、性別、年齢などにとらわれない多様性を尊重した雇用を促進し、すべての人の尊厳と人権を守る企業風土を育成。 【17 パートナリシップで目標を達成しよう】 ・信頼のおける取引先や、パートナー企業との連携により、相乗効果を生み出しお客様により質の高いサービスを提供。 ・外国籍人材の採用においては、送り出し機関、教育機構と連携した支援体制を整備。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
08	オリオンビール株式会社 代表取締役社長兼執行役員社長 CEO 村野 一	【SDGs の達成に向けた取り組み】 ・海洋環境保全に向けて、沖縄県南部のビーチクリーン活動を合計 80 名の参加者を社外から募集し実施した。また、社外企業が実施するビーチクリーン活動に 2024 年度に 3 回、参加した。 ・ゼロエミッション活動：2016 年以降、ビール類の製造過程から出る全ての廃棄物（年間平均約 5,000 トン）をリサイクル・リユーズすることによりゼロエミッションを達成している。琉球大学等の研究機関と連携し、残渣の有効活用法について共同研究を行っている。 ・オリオングループ全体の脱炭素を目的として、太陽光発電の研究及びテストベッドに向けて、MOU を締結した。 ・オリオンビール所有林のイヌマキ 5,000 本の CO2 吸収量が「沖縄県 CO2 吸収量認証制度」にて認証された。 ・シングルマザーキャリア支援事業：「子どもの貧困」にも大きく影響するシングルマザー家庭の所得向上を目指し、県内のシングルマザーのキャリアアップ支援を行う。2020 年には休眠預金活用事業の採択を受け、貧困やシングルマザー家庭の実態調査、琉球大学との共同研究をスタートし、継続している。 ・子どものキャリア教育事業：2016 年より経済的な理由で修業が困難な学生に対し、返済義務のない奨学金を給付している。グループ各社において地域の小中高校との連携を図り、各種体験学習の受入れや講師派遣を行っている。 ・女性活躍推進活動：社内プロジェクトとして、社員意識調査・課題抽出（男性育休 100%・残業軽減によるワークライフバランスの確立・女性管理職登用率アップ）等の取組みの立案・実施により女性が働きやすい環境づくりを行っている。 ・地産地消を軸とした商品開発：2020 年以降、沖縄県内の経済成長に寄与するため、沖縄県産品を原料とした酒類の開発技術の向上に注力している。 ・地域産業との連携による循環型商品の開発：ドラフトビールの原材料に伊江島産大麦を採用し、農家との連携により大麦の生産量向上に取り組んでいる。また大麦の生産を名護市、南城市に展開し産業活性化を図る。 ・首里城再建支援：首里城再建支援デザイン缶による資金造成。 ・イヌマキ育樹活動：2019 年より首里城再建支援デザイン缶を限定発売し、1 缶から 3 円の資金造成を実施。この資金を基に首里城建設資材となるイヌマキの育樹活動を行っている。 ・首里城うむいの燈プロジェクト：2020 年、首里城焼失から 1 年の節目に各種イ	

SDGs の達成に向けた取組

		ベントを実施（県内 17 社が参画）。改めて県内外に向けて首里城再建支援の啓発を行った。本イベントは今後、首里城再建まで継続して行っていく。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
09	KAYATSUMA OKINAWA HOTEL & RESORT 代表取締役 吉田 卓史	【SDGs の達成に向けた取組】 ・循環する資源に変える「コンポスター」食品廃棄物を有機質肥料として生まれ変わらせる「コンポスター」を導入いたしました。食品廃棄物からつくられた肥料は式場の植物へ使用いたします。将来的には、提携農園や仕入れ農家へ提供し、野菜作りに使用していきたいと考えています。今まで生ゴミだったものを資源として活用することで、持続可能な社会の仕組みづくりに貢献いたします。 ・地球にやさしいペーパーストロープラスチックゴミ削減のため、2021 年 11 月よりペーパーストローを導入いたしました。ペーパーストローは循環資源である紙でできているため、海を汚さず海洋生物を傷つけることがない地球と生き物に優しい素材です。ペーパーストローを使用し、環境改善への一助を担いたいと考えております。 ・“自分らしくもっと自由に” 結婚式を叶える結婚式はただ愛を誓うだけでなく、それをたくさんの人に認めてもらう意味も。大切なひとたちに「人生のパートナー」を報告し、ふたりのこれからを見守ってもらう。そんな機会を創造する結婚式のお手伝いをさせていただきます。 現在、女性用タキシードの制作も進めており、ジェンダー平等がより実現することを目指します。 ・スタッフによるビーチクリーン活動を推進しプラスチックゴミ、発泡スチロールなど回収し海洋生物を傷付けない取り組みを実施。	5 ジェンダー平等を 実現しよう  12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさを 守ろう 

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
10	株式会社 弘城建設 代表取締役 知念 正則	弊社の SDGs の取り組み方針は、土木建築工事業で培った技術を活かし、施工の際は極力環境保全に努め、県民のよりよい住みやすい街づくりに寄与する。 また、海外の絶えまない紛争の地域の難民に対し、飢餓と疫病をなくする支援を行なう。 SDGs ゴール 2. 飢餓をゼロに ・日本ユニセフ協会に 5 万円寄付した。（令和 6 年 1 2 月 2 4 日） ・利益の一部を子供貧困対策および海外の飢餓対策に貢献できるようにしている。 SDGs ゴール 3. すべての人に健康と福祉を ・毎年 1 回全従業員に対し健康診断を実施し、再診の必要とある者は再診を促して啓発する。 ・夏場の熱中症対策として従業員の休憩施設の完備、空調服等の支給を実施している。 ・沖縄県が推奨している「うちなー健康経営宣言」に登録し、適宜社員の健康管理状況を報告している。 SDGs ゴール 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう ・年に 2 回～ 4 回 CPDS（継続的能力向上システム）の講習会に全員を受講させ建設業にかぎらず、多種の分野の知識を身につけさせるようにしている。 ・社内マネジメントレビューを行ない、廃棄物の分別リサイクル、赤土流出防止等に努めている。 SDGs ゴール 11. 住み続けられるまちづくりを ・地元の建設業団体ならびに自社の年間ボランティア清掃活動を実施し、住みよいまちづくりに貢献している。	 The image shows four SDG icons: Goal 2 (Zero Hunger) with a bowl of rice, Goal 3 (Good Health and Well-being) with a heart and pulse line, Goal 9 (Industry, Innovation and Infrastructure) with a factory and cubes, and Goal 11 (Sustainable Cities and Communities) with a city skyline.

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
11	株式会社シーマックス シーマックスダイビング クラブ沖縄 代表取締役 天野 ひとし	■ノータッチマナー海洋生物へのノータッチマナーとして「サンゴ・海洋生物を踏まない・蹴らない・触らない」ことをスタッフが遵守し、ツアー前にすべてのお客様にご説明し、海洋生物を傷つけない海の遊び方を周知します。 ■サンゴの植付け活動年 1 回、ゲストダイバーと共にサンゴの苗を慶良間海域に植付けします。 ■サンゴの有害生物駆除活動&水中清掃活動年 15~20 回ほど、以下①②の活動を行います。 ①サンゴの天敵であるオニヒトデ、レイシガイ駆除活動 ②水中のゴミ拾い活動（釣り糸、ペットボトル、網やブイ・ロープ等の漁業用具） ■ビーチクリーン活動年 6 回ほど、以下①②の活動を行います。 ①沖縄本島エリアのビーチのゴミ拾い活動 ②慶良間諸島の無人島に上陸し、島内のゴミ拾い活動 ■餌付けの禁止海洋生物の健康状態や生態系を壊す原因となり、サンゴ礁へのダメージにつながる餌付け行為を、ツアー中禁止するとともに、禁止理由を説明することで「餌付けしない海遊び」を推奨し、海洋生物と共に生きる暮らし方を周知します。 ■海に優しい日焼け止め使用の推奨サンゴの白化・損傷の原因となる「オキシベンゾン」と「オクチノキサート」を含まない日焼け止めの使用をすべてのお客様に推奨し、海況環境への悪影響の広がりを防止する啓蒙活動を行います。 ■サンゴを守る船上行動の徹底サンゴや海洋状況に悪影響を作らないために、船上で以下の行動を徹底します。 ①サンゴを傷つけない船の錨の設置（係留ブイの使用及びダイバー潜行による設置） ②海へのゴミ・吸殻のポイ捨て禁止 ③トイレ使用時にトイレトーパーを便器に流さない	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
12	JFE エンジニアリング 株式会社 沖縄支店 支店長 佐藤 健全	【SDGs の達成に向けた取り組み】 私たちの技術を用いた、未来に向けたアクションをご紹介します。 人々が豊かで快適に生活する社会を目指し事業を展開する私たちにとって、貧困や飢餓のない、すべての人が健康な世界を目標にすることは、当然の使命です。 また、社会や暮らしを支えるインフラの整備・運営を効果的に進めるためには、海外の国々や国内の地方公共団体のみならず、様々な技術・発想を持った個人や企業とのパートナーシップも必要不可欠です。 私たちは SDGs を達成するため世界最高の技術をもって社会に貢献します。 ●循環型社会を実現するプロジェクト - リサイクル・廃棄物発電 - 再生可能エネルギー ●快適なまちづくりや暮らしに直結するプロジェクト - 上下水道整備 - 食料・医療分野の新規事業 ●国や地域の発展に寄与するプロジェクト - 港湾・橋梁など交通インフラの整備 - エネルギーの安定供給インフラの整備 ●生活や産業を支えるインフラの維持・運営 - 世界各国における拠点開設・技術移転 - ワークライフバランス重視による多様な人材の確保と育成 - 良質な商品の提供とお客様満足度の向上 - 労働災害の防止、社員とその家族の健康確保 - 企業倫理の徹底と法令順守 【SDGs の普及に向けた取り組み】 CO₂削減とサーキュラーエコノミー実現による SDGs 達成 サーキュラーエコノミー実現方法	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
13	株式会社 SUPERPHANTOM 代表取締役 椎名 修一	業務のデジタル・シフトや事業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を含む生産性向上、イノベーションを育む組織風土醸成に寄与する教育的コンテンツをセミナーやコミュニティイベントを通じて、地域社会の皆さまへご提供しております。より良く働くための学びの機会を沖縄県で働く全ての人へ提供する（ターゲット 4.4）とともに、その実践を通じて県内事業者の生産性向上（ターゲット 8.2）に貢献することを目指し、沖縄県全体のビジネス環境における持続可能性の底上げとディーセント・ワーク実現を推進いたします。 ・ SDGs 推進のため、県内の高校生を対象に教育コンテンツを提供（ディーセントワーク推進支援） ・ 社会課題解決のための取組として、NTT ドコモ、マッシュグラ沖縄タイムス、ReLic と協働し、セミナーやワークショップ、コミュニティイベントを提供	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
14	たきばる東 代表 伊藝 亮	・ 座って学ぶ座学だけではなく、サッカーというスポーツを通して協調性や柔軟性、発想力を育み、これからの将来を担う子供たちの成長を促進。 ・ サッカーだけでなく、ゴミ拾いなどのボランティア活動を定期的にチームで行い、住みやすい環境作りを目指しています。 ・ 性別や国籍関係なく、様々な子たちが活動しています。また、沖縄特有の基地内の選手たちとの交流など外国人選手との交流も行っており、それにより将来の国際を発展させていく。 ・ 自社の畑を使って、満足に食べることが出来ない子供たちへ、食の提供を行いたい。同時に栽培から一緒に体験する事によって作る喜び、地産地消を目的にしていきたい。 ・ 各年代のサッカー大会、SDGsCUP を開催し幅広くの方達に取り組みを知ってもらう。 ・ 沖縄から平和を発信していきたいと思います。 ・ これからも、たきばる東では、SDGs の 推進を通して、子供達の未来を創造するサポートをしていきたいと思います。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
15	株式会社ディアーリュウ ウキュウ 代表取締役 森野由美	① 海の豊かさを守ろう、陸の豊かさも守ろう 沖縄の海・サンゴ礁・環境整備活動・ウミガメの保護活動などの為に売上金の一部で団体様や NPO 法人様等を支援しています。 ② 産業と技術革新の基盤をつくろう 沖縄県産品にこだわり、沖縄の大自然を感じられる商品を作り、沖縄の魅力を世界中にアピールします。外国産土産品が氾濫する中で沖縄産製品が普及してゆけるよう呼びかけを行います。お客様のニーズに的確に対応できる商品を開発し、メイドイン沖縄のブランドを確立します。 ③ 質の高い教育をみんなに ガラスアクセサリーのものづくり体験・スクールを開設し、観光客や県内客にもものづくりの楽しさや技術を提供。会社や学校・団体からの依頼で出張ものづくり講習会を行います。 ④ 働き甲斐も経済成長も 健康に生活し、スキルアップしながら仕事できる、働きやすい職場づくりを行っています。 ⑤ パートナiershipで目標達成をしよう SDGs に取り組み 1~17 のゴール達成に貢献している企業と取引をしていきます。活動内容を発信し、SDGs の普及に努める上記活動を SDGs のアイコン等を弊社 web 等で拡散し、沖縄県内の SDGs の認知度を上げていきます。	 The image shows six SDG icons arranged in a 2x3 grid. The top row contains icons for Goal 4 (Quality Education, red), Goal 8 (Decent Work and Economic Growth, purple), and Goal 9 (Industry, Innovation and Infrastructure, orange). The bottom row contains icons for Goal 14 (Life Below Water, blue), Goal 15 (Life on Land, green), and Goal 17 (Partnerships for the Goals, blue).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
16	株式会社テラ・ウェブ クリエイイト 代表取締役 寺田 克彦	私たち株式会社テラ・ウェブクリエイイトは、最先端の IT 事業活動を行い、ヒエラルキー型の経営ではなく、一人ひとりが経営者という自覚を持ち、働き甲斐のある会社を目指します。 ●「働きがいも経済成長も」 循環ホラクラシー経営を実践し、新しい働き方の県内のモデルケースを目指します。 ●「つくる責任つかう責任」 毎月発行する請求書等の書類を電子化し、ペーパーレスに取り組んでいます。 ●「質の高い教育をみんなに」 IT の知識を生かし、次世代を担う子供たちに対し、無料のプログラミング教室を開催する予定です。 ●「平和と公正を全ての人に」男女比率 1 : 1、ワーキングマザー、ひとり親世帯や外国にルーツを持つ方など多様な人材を採用し、リモートワークや時短勤務など、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方を推進します。	 The image shows four SDG icons: Goal 4 (Quality Education), Goal 8 (Decent Work and Economic Growth), Goal 12 (Responsible Consumption and Production), and Goal 16 (Peace, Justice, and Strong Institutions).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
17	株式会社 NextStage 代表取締役 古我知 亮	弊社は、スマートフォンアプリ・ECサイトを使用した、食品ロス削減・低価格フードシェアリングサービス「ReReまる（りりまる）」の企画・開発・展開を通じて、特に、「1. 貧困をなくそう」、「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」、「10. 人や国の不平等をなくそう」、「12. つくる責任つかう責任」、「13. 気候変動に具体的な対策を」の 5 項目について重点的に取り組んでいます。 ～ReReまる～名前の由来～ Relation（リレーション）－相互の関わり、繋がりを築く。 Reduce（リデュース）－製品製造時の資源量・廃棄物の発生を少なくする。 ゆいまーる－沖縄特有の相互扶助・助け合いの精神。「ReReまる」を展開することにより、本来食品ロスとなる商品を廃棄前にECサイト上に掲載し、その商品を必要とする消費者とマッチングすることで、廃棄量・廃棄費用の削減効果が見込まれ、同時に廃棄物処理時に排出する二酸化炭素削減効果も見込めることは、クリーンな循環型社会を形成することに貢献できると考えています。（7・12・13） また、一方では余り過ぎ、一方では不足している状況を調整し、廃棄される前の商品を低価格で提供する仕組みを構築することにより、低所得者層を含むより広い所得層の消費者に商品が行き届く効果が見込まれます。これにより弊社は、子どもの貧困率を少しでも減少させることが出来るよう、自分たちの手の届くところから、地域社会に貢献することができると考えています。（1・10） 更には、商品提供を依頼する加盟店を、食品小売店・飲食店・食品加工業者・地元農家・地元漁業者等、幅広く地域の食に関連する事業者とすることで地域事業者間の連携に寄与することができると考えています。（12） 「ReReまる」は、フードシェアリングという仕組みを用いて、沖縄の伝統的な相互扶助精神である「ゆいまーる精神」を実践することが大きな目的となっています。（1・7・10・12・13）	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
18	有限会社 野渡建設 代表取締役 野原 茂雄	私たち有限会社野渡建設は、那覇市及び地域（真地）の自然環境と地域・社会の持続的な共生関係を守る目的で、ISO 取得を目指し活動を開始しました。それに伴い、環境活動に配慮しつつ業務運営及び施工する目的で、「SDGs」の精神や沖縄県が推進するアクションプランへ賛同し、全社員による以下の取組みで、地元へ貢献したいと考えます。 - 社員や関連する作業員の健康管理、熱中症対策やインフルエンザなどの感染予防の為、毎日の危険予知活動やアルコールチェックを実施します。（3、全ての人に健康と福祉を） - 現場で使用する機械の低排出ガス規制（第3次規制）を利用また、燃料費などの削減のため社用車のアイドリングストップや軽自動車などへのシフトチェンジを検討しています。（7、エネルギーをみんなにそしてクリーンに） - 週休二日制度の導入や、適宜昇給や決算賞与の検討など働き方改革への取組みの推進（8、働きがいも経済成長も） - 南風原町の建設業部会（協定書）に災害防止協議会や普及支援の協定を結んでいます。（11、住み続けられるまちづくりを） - 現場や会社で発生する廃棄物の適正処分（契約書、許可証の確認、マニフェスト伝票による追跡確認）及び分別による削減を行うとともに、業務で使用する資材（長寿命化、再生可能資材の積極的な利用）で施工を行います。また、公共工事受注で発生する業務で、超低排出機械（NETIS 登録機械）の利用や省エネルギー資材（再生材）の利用、創意工夫によるバリューエンジニアリングを推進します。（12、つくる責任つかう責任） - コピー使用時の裏面利用や、再生紙利用、冷房温度の設定、廃棄物の再資源化、燃料使用で NETIS 登録（国土交通省が認定する環境配慮型エコ製品や超低排出型重機など）などエコ車両や重機の採用を促進・推奨します。（13、気候変動に具体的な対策を） - 顧客（発注者）及び協力会社との互恵関係維持、働き方改革（公共工事での週休二日制度対応や家庭環境配慮：定時帰宅や遠隔地配慮）などへの取り組みを積極的に行い、相互作用による成長を促します。（17、パートナーシップで目標を達成しよう）	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
19	ノマドマーケティング株式会社 代表取締役 三輪 賢治	【人材育成 3, 4, 5, 8, 10, 16】 ・社員各々が仕事を通して成長を実感できるようにセミナー等を多く行い、働きがいを感じられる職場づくりを実践しています。 ・女性社員を積極的に採用しており、男女平等社会を形成する一員としての自覚を持って活動しています。 ・資格取得をサポートします。 ・女性の活躍を推進し、キャリアアップ、育児との両立を支援します。 ・自担勤務制度、フレックスタイム、ノー残業デーの導入でライフスタイルに合わせた働きやすい完了を目指します。 【地方創生 8, 10, 11】 ・地域社会における未婚・晩婚問題の解決に向けて、全国規模で街コンや婚活イベントを行っており、それに伴って地方の飲食店の繁盛も促進しています。また、地方事業者と業務提携を行い主催企業へのユーザーを送客することで、地方自治体の活性化に向けて活動しています。全国の自治体の婚活事業についてもご紹介しております。 ・e-venz（イベント）という婚活、街コン、恋活のポータルサイトを運営しており、全国の企業様のイベントを掲載、ご紹介しております。恋愛だけでなく、ビジネス交流会、友活、LGBT イベントも主催、掲載しており、全国の方の様々な出合いをサポートしております。 【異業種とのコラボレーション 8, 17】 ・婚活に限定せず、多くの異業種と業務提携を行い、イベント事業または自社の異業種交流会を主催し、異業種とのコラボレーションにより革新的なアイデアの創出を図っております。	 The image shows a grid of SDG icons. The first row contains icons for goals 3 (Health and Well-being), 4 (Quality Education), and 5 (Gender Equality). The second row contains icons for goals 8 (Decent Work and Economic Growth), 10 (Reduced Inequalities), and 11 (Sustainable Cities and Communities). The third row contains icons for goals 16 (Peace, Justice, and Strong Institutions) and 17 (Partnerships for the Goals).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
20	ベストウェスタン沖縄 恩納ビーチ 総支配人 山田 親三	【SDGs の達成に向けた取り組み】 ・プラスチックごみ削減の為、レストランでのパイナップル葉繊維ストローの使用、及び脱ストロー推進を図りました。 ・脱炭素に向けて、電動アシスト付自転車を導入（近隣観光施設等への移動手段として利用促進）。 ・プラスチックごみ削減の為、客室アメニティのポンプボトル導入。 ・サンゴ保全の為、全客室アメニティとして、35 コーヒーの導入（35 コーヒー売り上げの 3.5%がサンゴ保全に寄付されている）。 ・地球温暖化防止の為、照明の LED 化 ・気候変動への具体的な対策として、全客室へ節水ゴマの設置。 ・外国籍スタッフ及び地元スタッフの積極的雇用。 ・スタッフ教育セミナーの実施。 ・貧困問題を減らすために、ひとり親家族への支援用募金箱の設置。 ・恩納村と連携したサンゴの植え付け体験プログラムの企画調整。 ・海洋保全の為、近隣ビーチの清掃活動 ・働きやすい環境整備のため、育児介護休業制度を創設しました。	 The image shows six SDG icons arranged in a 2x3 grid. The top row contains icons for Goal 1 (No Poverty), Goal 4 (Quality Education), and Goal 5 (Gender Equality). The bottom row contains icons for Goal 10 (Reduced Inequalities), Goal 12 (Responsible Consumption and Production), and Goal 14 (Life Below Water).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
21	株式会社ハウゴ 代表取締役 菊池 和登	【SDGs の達成に向けた取り組み】 ・ SDGs 推進のため、県内企業の従業員に対し、健康診断受診の啓発や、健診結果の活用支援を行うサービスを提供しています。 ・ 脱炭素に向けて、社用車の利用削減や、オンライン会議の導入により移動機会を抑制し、環境負荷の軽減に取り組んでいます。 ・ 働き盛り世代の健康を守るため、沖縄県独自の「うちなー健康経営宣言」企業への支援活動を通じて、職場環境の改善や従業員の健康リテラシー向上を推進しています。 ・ 働きやすい環境整備のため、高齢従業員向けの運動・健康支援を実施し、転倒予防や離職防止などの労働安全支援を行っています。 ・ 社会課題解決のため、県内企業を対象とした健康経営調査・研究を実施し、プレゼンティーズム等の健康課題を可視化、地域課題の分析と提言を行っています。	 The image shows six SDG icons arranged in a 2x3 grid. The top row contains icons for Goal 3 (Good Health and Well-being), Goal 4 (Quality Education), and Goal 8 (Decent Work and Economic Growth). The bottom row contains icons for Goal 11 (Sustainable Cities and Communities), Goal 16 (Peace, Justice, and Strong Institutions), and Goal 17 (Partnerships for the Goals).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
22	マレア宮古島・マリン ロッジマレア宮古島 代表取締役 鳥居 敏	【SDGs 達成に向けた取組】 ●すべての人に健康と福祉を 店内・ホテル・レストランでは禁煙を実施 一定の年齢層に達した方や過去に病気を患った方には医師の許可をとってからダイビングの申込をご案内している。 ●ジェンダー平等を実現しよう 仕事内容の男女平等（ホテル、ショップ、レストラン）終業時は同じ制服を着用。 ●働きがいも経済成長も 育児・介護休暇の導入 退職金前払い制度や福利厚生を充実させている。 ●つくる責任、使う責任 レストランでの食品ロスの管理、使い捨て商品（紙コップ、割りばし、ビニール袋）などを極力使用しない、ダイビング開催時のマイボトル持参の推奨。 ●気候変動に具体的な対策を クールビズの実施 節電、節水の実施。 ●海の豊かさを守ろう 定期的なサンゴの移植活動 海辺の清掃活動 ダイビングスキルを指導し、海洋生物を傷付けないダイバーの育成を行う。	 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
23	株式会社 ユウヒ開発 代表取締役 越来 均	当社は建設工事業を通して地域住民に寄り添い貢献しながら、社員全員が SDGs の達成に向けて取り組んで参ります。 【健康への取り組み】目標 ③ ・ うちなー健康経営宣言を推進し、年 1 回の健康診断に取り組み、現場での熱中症対策として空調服を貸与し、熱中指数計と熱中症対策ゼリーを常備し従業員の健康を守る取り組みを行っています。 【働きやすい職場づくり】目標 ④ ⑤ ⑧ ・ 資格取得を積極的にサポートし技能者の評価、資格手当等を支給し能力の向上を図っています。 ・ 育児休暇の取得や、勤務時間の調整をし、女性社員への子育て配慮をしています。 ・ 年次有給休暇の積極的な取得を声掛けし、ライフワークバランスを整えています。 【環境への取り組み】目標 ⑦ ⑨ ⑪ ⑫ ⑭ ⑮ ・ 道路清掃や、海岸清掃など定期的なボランティア活動の参加をしています。 ・ 社用車をハイブリッドカーにし、CO2 の排出抑制を図っています。 ・ 事務所内でのコピー用紙の裏紙利用、不要な電気をこまめに消すを徹底しています。 ・ ISO9001（品質）、ISO14001（環境）の認証を取得し、品質向上、環境保護に取り組んでおります。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
24	琉球フットボールクラブ株式会社 代表取締役社長 柳澤 大輔	当社が運営する J リーグクラブ FC 琉球では「ホームタウン沖縄県」を掲げ、年間 500 回以上にわたる地域貢献活動を行っています。クラブ単体での活動に留まらず、パートナー企業、自治体、学校、ファン・住民を巻き込み、「地域共創のハブ」として機能しているのが大きな特徴です。（17. パートナーシップで目標を達成しよう） 2025 年からは「ちむぐくるプロジェクト」と銘打ち、SDGs の達成に資する下記の活動を実施しています。 【経済】 「12. つくる責任 つかう責任」 ▼ジンベーニョリユースカップ ホームゲームのドリンク売場において、アルコール販売の容器をリユースカップに切り替えました。カップを回収、洗浄して、繰り返し使用することで、環境美化に繋がります。 【社会】 「4. 質の高い教育をみんなに」 ▼ゆいゆい SMILE プロジェクト 選手、スタッフが県内の小・中・高校生を対象に、将来の夢やなりたい職業を考えるきっかけとなる講話を実施したり、体育の授業への参加、あいさつ運動などの学校訪問活動を、本島中南部の市町村を中心に、月 15 回程度実施しております。 ▼夢ボールプロジェクト 沖縄の子どもたちにスポーツの楽しさや夢を持つ大切さを感じてもらうことを目的に、県内全小学校 263 校へ小学生がデザインしたサッカーボールを寄贈する「FC 琉球夢ボールプロジェクト」を 2022 年より実施しています。 ▼キッズフリーパス 小学生以下の子どもは、ホームゲーム全試合（年間 19 試合）を無料で観戦可能。子ども達が地元のプロサッカー選手や試合に触れることで、夢や感動を得られる機会を提供することに賛同する企業のご支援で毎年運用しており、2024 年度は発行実績	

SDGs の達成に向けた取組

		3,539 枚となっています。 「11. 住み続けられるまちづくりを」 ▼ゆいまーるパトロール 夜間の防犯活動や地域の安全意識の向上を図るとともに、健康増進に寄与するため、クラブとファン・サポーター、地域住民が主体となって、ランニングしながら行う防犯パトロール活動を、本島中南部エリアを中心に月 1 回程度実施しています。 ▼交通安全活動 子どもたちの交通安全に対する意識の向上や、正しい知識を身に着けることでの事故防止等を目的とした活動を、警察や交通安全協会とともに、本島中南部エリアを中心に年間 6 回程度実施しています。 「2. 飢餓をゼロに」「3. すべての人に健康と福祉を」 ▼フードドライブ 試合来場者から家庭の余り食材を回収し、こども未来ランチサポートへ提供する活動を、ホームゲーム開催日を中心に年間 20 回程度実施。参加者にはチームマスコットのジンベーニョステッカー等をプレゼント。 ▼子ども食堂 チームの協賛企業が主催する本島内での子ども食堂イベントに、年 2 回程度参加しています。飲食店舗と協力し、選手のサッカー教室等も併設するイベントとし、食事＋交流の温かい場を開催しています。 【環境】 「14. 海の豊かさを守ろう」 ▼クリーン活動 FC 琉球では、沖縄の美しい海や自然を守るクリーン活動を実施。ホームゲーム（年間 19 試合）で清掃道具を貸出し来場者によるスタジアム周辺での活動を支援している他、協賛企業や NPO 団体、自治体主催の活動にスタッフ・選手・ファンを動員して年間 3～5 回程度参加し、地域の方々と楽しく触れ合いながら、ごみの回収や、リサイクル・アップサイクルに取り組んでいます。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
25	琉球 BlueSeas 代表 永井 智	「自チームの活動」私たちのチームは男子 6 人制バレーボールチームで、『子どもたちの夢を創る』をコンセプトの活動しております。チームが勝つことはもちろんですが、それ以上に子どもたちに還元できるようなイベント事業に力を入れています。 ①バレーボールクリニック活動 我々は子どもたちに向けたクリニック活動を行っており、首都圏だけでなく、県内の北部や離島に住む子どもたちにも指導がいきわたるように、クリニック活動を行っております。またビーチバレークリニックも行っており、その際にはビーチクリーン活動も行っております。 ②大会運営 子どもたちだけではなく、男女平等に出場ができる一般向けの男女混合バレーボール大会も開催しております。男女問わず、すべての人たちが健康でいられるように、運動できる環境をご提供しております。 ・離島でのバレーボール教室 ・小学校でのバレーボール教室 ・バレーボールの試合に県内小学生を無料招待	 The image shows six SDG icons arranged in a 2x3 grid. The top row contains icons for Goal 3 (Good Health and Well-being), Goal 4 (Quality Education), and Goal 5 (Gender Equality). The bottom row contains icons for Goal 10 (Reduced Inequalities), Goal 16 (Peace, Justice, and Strong Institutions), and Goal 17 (Partnerships for the Goals).

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
26	ルネッサンスリゾートオキナワ HPD コーポレーション 常務取締役ホテル事業 本部長ルネッサンスリゾートオキナワ ジェネラルマネージャー 伊良波 清	【SDGs 達成に向けた取組】 ・ 海洋環境の保全を目的に、プラスチックごみの削減に積極的に取り組んでいます。再利用ができないマイクロプラスチックとなってしまう、プラスチックストローの不使用はもちろん、客室のアメニティに関してもマイクロビーズフリーのアメニティを積極的に採用しています。 ・ 恩納村「サンゴのむら」宣言の精神に賛同し、サンゴの植え付けに協力する 2030 年までに造礁サンゴ類被度 30%を達成する取り組みに協賛し、ホテルのプログラムとしても枝サンゴの植え付け体験の機会を用意し、海洋環境保護に対しての理解を深めています。 ・ 恩納村主催のビーチクリーンに積極的に参加し、具体的に海の豊かさを守るために行動することを推奨しています。 ・ ルネッサンスリゾートオキナワでは開業した 1988 年より同じシルバーカトラリーを大切に使用し続けています。シルバーは管理するのは難しい素材ですが、大切に磨けばずっと使い続けられます。プラスチックのように便利で管理も簡単な素材に依存せず、「沖縄の環境を守る」ということに取り組めます。 ・ リネン類の不交換及びノークリーニングサービスを環境への観点からお客様に提案し、ご賛同いただけただお客様に対して館内利用券を配布する取り組みにより、リネンの洗濯にかかる電力資源・水資源の節約や排水による環境への負荷を削減する取り組みを行っています。 ・ 地域の子どもたちへの教育機会の提供として、マナー講習や就業体験の受け入れなどを積極的に行っています。ホテルは様々な職種の集合体です。職場体験ではいろいろな職の体験をする機会を提供することができます。また、職業人としてのホテルマンとして未来を担う学生の就業意識の醸成に貢献しています。	